

職業実践専門課程の基本情報について

学 校 名	設置認可年月日	校 長 名	所 在 地		
国際デザイン・ビューティカレッジ	平成4年2月17日	永橋 正至	〒780-0935 高知県高知市旭2-22-58 (電話) 088-875-0099		
設 置 者 名	設立認可年月日	代 表 者 名	所 在 地		
学校法人 龍馬学園	平成元年3月23日	佐竹 新市	〒780-0056 高知県高知市北本町1-12-6 (電話) 088-825-0077		
目 的	美容師国家試験に向けた勉強はもちろん、シャンプーやヘアカラーといった基礎技術の強化や衛生面の徹底にも取り組んでいます。お客様のニーズを的確に捉えたスタイルの提案やカウンセリング能力に加え、顧客満足、経営効率といった面も常に考えて行動できる美容師を養成します。また、メイクアップやネイルアートなどの技術も磨き、ショーやコンテストにも積極的に参加して、幅広く活躍できるビューティストを目指します。				
課 程 名	学 科 名	修業年限 (昼、夜別)	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	専門士の付与	高度専門士の付与
衛生関係専門課程	美容科	2年(昼間)	2040単位時間 (又は単位)	平成17年文部科学省 告示第30号	—
教育課程	講義	演習	実験	実習	実技
	660単位時間 (又は単位)	0単位時間 (又は単位)	0単位時間 (又は単位)	1380単位時間 (又は単位)	0単位時間 (又は単位)
生徒総定員	生徒実員	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80人	41人	6人	9人	15人	
学期制度	<ul style="list-style-type: none"> ■前期：4月1日～8月31日 ■後期：9月1日～3月31日 	成績評価	<ul style="list-style-type: none"> ■成績表 (有) 無) ■成績評価の基準・方法について 実技課題60点以上 学期末試験60点以上 		
長期休み	<ul style="list-style-type: none"> ■学年始め：4月1日 ■夏 季：7月26日～8月23日 ■冬 季：12月24日～1月10日 ■学 年 末：3月31日 	卒業・進級条件	各授業科目に係る出席時数が実授業時間数の10分の9以上かつ各授業科目100点を満点とし60点以上であること		
生徒指導	<ul style="list-style-type: none"> ■クラス担任制 (有・無) ■長期欠席者への指導等の対応 保護者を交えた面談及び連絡 	課外活動	<ul style="list-style-type: none"> ■課外活動の種類：地域イベント等にボランティア参加 サークル活動 (有・無) 		
主な就職先	<ul style="list-style-type: none"> ■主な就職先、業界 美容室、ヘアメイクアップアーティスト、ヘアカラーリスト、ブライダルスタイリスト、ビューティスト、アイリスト、ネイリスト、 ■就職率^{*1} 100% ■卒業者に占める就職者の割合^{*2} 100% ■その他(任意) (平成26年度卒業者に関する平成27年3月時点の情報) 	主な資格・検定	美容師国家資格、 ネイリスト技能検定、 サービス接客検定、 色彩検定、 パーソナルカラー検定、 フェイシャルエステティシャン検定、 ジェルネイル技能検定		

<p>中途退学の現状</p>	<p>■中途退学者 5名 ■中退率 10.4%</p> <p>平成 27年 4月 1日在学者 48名 (平成 27年 4月入学者を含む)</p> <p>平成 28年 3月 31日在学者 43名 (平成 28年 3月卒業生を含む)</p> <p>■中途退学の主な理由：美容業界以外への就職希望</p> <p>■中退防止のための取組：個人面談又は三者面談を行い学生の状況把握に努める。また、気になる学生については教職員間の情報交換や報告をスピーディーに行なっている。</p>
<p>ホームページ</p>	<p>URL: http://www.ryoma.ac.jp</p>

※1 「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職（内定）状況調査」の定義による。

- ①「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものとする。
- ②「就職率」における「就職者」とは、正規の職員（1年以上の非正規の職員として就職した者を含む）として最終的に就職した者（企業等から採用通知などが出された者）をいう。
- ③「就職率」における「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者は含まない。

※「就職（内定）状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等としている。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除いている。

※2 「学校基本調査」の定義による。

全卒業者数のうち就職者総数の占める割合をいう。

「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいう。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしない（就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う。）

1. 教育課程の編成

(教育課程の編成における企業等との連携に関する基本方針)

最近の技術動向を踏まえ、現場で必要な知識・技術を具体的に身に付けさせるため、企業へのヒアリング等を通じて重要項目や課題を抽出し、その結果にもとづいた解決・改善内容を実習や演習内容に反映できるように出版社や企業と連携しながら計画を進める。また実習・演習等の実施後には出版社や企業及び学生からの報告を元に、その効果を検証しながら改善・改良を図る。

(教育課程編成委員会等の全委員の名簿)

平成28年3月1日現在

名 前	所 属
永橋 正至	校長
廣瀬 美代子	教務部長
岩神 義宏	教務部副部長
横山 哲也	教務部課長
吉田 ひとみ	高知県美容生活衛生同業組合 教育委員 教育部長
岡林 沙耶	freep 店長
川上 幸奈	freep

(開催日時)

第1回 平成28年7月27日 10:00～11:30

第2回 平成29年2月24日 15:00～16:00

2. 主な実習・演習等

(実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針)

連携先企業等の担当者や学校担当者との間で、授業形態やシラバスの確認を行い、また評価項目に関しては、その内容とレベルを協議し確認している。実習・演習等の期間中は、どのような指導を学生が受け、どのように向上したのかを企業等の担当者から適宜、具体的な報告を受けている。また、その実効性について企業側と学校側とで具体的な検討ができるよう体制を敷いている。

科 目 名	科 目 概 要	連 携 企 業 等
美容実習	基本的な美容技術に習熟し、状況に応じて応用できる基礎的能力を身に付ける事を目的に美容室で実務実習を行う。ネイル検定を目指し、ネイル理論、ケア、カラーリング、ネイルアート技術を学ぶ。	高知県内実務実習先美容室、校内施設
美容総合技術	学生技術大会ネイルアート種目に準じたネイルアート技術とネイル検定2級内容を学ぶ。アイラッシュ技術を学ぶ。	校内施設
メイクアップ	基礎的化粧品知識からテクニックまで実技と講義で理論的に学び美容師としてのメイク技術を身に付ける。	校内施設

3. 教員の研修等

(教員の研修等の基本方針)

当校が実施する研修は、①新任者研修、②管理職研修、③養成研修に分けて行われており、県内外の各科に関わる業界関係団体や、教育関係団体が主催する研修などに積極的に参加させている。研修等の参加に当たっては、校長又は部門の長が本人のキャリアや適性、意欲等を考慮し、また学校全体の状況等も踏まえ、戦略的に研修を計画している。

4. 学校関係者評価

(学校関係者評価委員会の全委員の名簿)

平成 28 年 3 月 1 日現在

名 前	所 属
門谷 明	保護者
菅井 清次	地域住民 旭町 2 丁目町内会
増田 典紀	地元企業関係者 (株)キャリアイノベーション 高知 G&G センターたるばあ センター長
山下 智徳	地元企業関係者 建築生活空間研究企画室代表
高橋 和之	卒業生 グラフィスデザイン事務所代表

(学校関係者評価結果の公表方法)

URL: <http://www.ryoma.ac.jp>

5. 情報提供

(情報提供の方法)

URL: <http://www.ryoma.ac.jp>

授業科目等の概要

(衛生関係専門課程 美容科) 平成 27 年度										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法		
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技
○			関係法規・制度	美容師の業務に関する衛生法規・制度及び消費者保護法規・制度について、正しい知識を習得しておかなければならない必要性を理解させ、あわせて、公衆衛生を担う美容師の社会的責務、職業倫理について、自覚を促すこと。 美容の業務に関する規定内容を正確に理解させるとともに、衛生法規が、美容業を行う場合の指針として有する意義を把握させること。	1 通年・ 2 ③	30		○		
○			衛生管理	公衆衛生の意義と本質とを明らかにすることによって、美容師が公衆衛生の維持と増進とについて重大な責務を担わなければならない理由は何かを十分に理解させることが必要であること。特に、環境衛生の意義と目的について、美容師の業務と関連付けながら具体的に理解させること。 美容師の業務内容と感染症予防、環境衛生の保持との具体的な関連付けを重視して、美容における衛生措置の重要性について理解させること。特に、美容器具などの消毒法は、美容業務の衛生性を担保する上で最も重要な技術であるので、その意義と原理について十分に理解させるとともに、その適正な実施方法を身に付けさせることが肝要であること。	1 ・ 2 通年	90		○		
○			美容保健	美容技術の基礎となる人体組織、特に皮膚及び毛髪などの皮膚付属器官の構造と機能に関する科学的、系統的な知識の習得を目的とすること。 美容の業務を安全かつ効果的に行うためには、皮膚、毛髪などに関する正確な科学的知識が不可欠であることを理解させること。	1 ・ 2 通年	120		○		

○		美容の物理・化学	<p>美容の業務を安全かつ効果的に行うためには、正確な科学的知識と合理的思考に裏付けられた美容器具や香粧品の適正な取り扱いが不可欠であることを理解させること。</p> <p>特に、物理・化学の基本原理についての理解とその応用能力とが、美容師にとって、極めて重要な意義を持つものであることを理解させ、美容器具や香粧品の合理的な取扱方法に習熟させる。あわせて、美容器具や香粧品による危害を防止するための使用上の注意を学ばせること。</p> <p>特に、香粧品は、美容技術を行う上で欠くことのできないものである反面、その使用方法を誤れば重大な健康被害を起こすおそれがあるものであることから、その化学的な性質を理解させるとともに、これを正しく使用するためには正確な知識と適正な技術とを身につけることが重要であることを認識させること。</p>	1・2 通年	90		○		
○		美容文化論	<p>美容業の使命は、より優れた人間美の創造、実現にあることをよく認識させ、この使命の達成のために必要な美的感覚を身につけ、これを洗練し、芸術的な表現力と鑑賞力とを養うこと。</p> <p>美容の業務を全うするためには、確かな技術力を身につけるとともに、豊かな感性に裏打ちされた優れた表現力を養うことが必要であることを自覚させること。</p>	2 通年	90		○	△	
○		美容技術理論	<p>美容技術についての知識を衛生的、能率的に実践する態度と習慣とを養い、工夫と創造の能力とを身に付けさせること。</p> <p>美容器具の正しい取扱いの方法と美容の基礎的技術とを作業の実際に即して指導し習熟させること。</p> <p>優れた美容技術は、経験によってだけでなく、科学的合理的な方法によって把握されなければならないことを強調すること。</p>	1・2 通年	120		○		
○		美容運営管理	<p>経営管理の基本的事項を学習することによって、美容業における科学的な経営管理手法の重要性を認識させ、美容所の経営に役立たせること。</p> <p>美容業において、適切な接客態度がいかに重要であるかを自覚させるとともに、消費者対応の基本を学ばせ、実践する能力を身に付けさせること。</p>	1・2 通年	60		○		

○		美容実習	<p>美容の業務を安全かつ効果的に実施する技術を習得するため、基本的操作を確実に身に付けさせるとともに、これらの基本的操作を適宜組み合わせることで完成させる技術を習得させること。</p> <p>美容所における衛生管理の重要性を認識させ、器具の消毒などの適切な実施方法を身に付けさせること。</p> <p>個々の客の要望に応じた美容技術を確実に提供できるよう総合的な技術の基礎を身に付けさせること。</p>	1・2 通年	810		△		○
	○	デッサン	物の形や調子、質感、立体感等を平面に表現できる基礎技術を習得する。人物、ファッション表現、描写までの表現力を習得する。POP 広告物の作成法を学習する。	1 通年	30		△		○
	○	パソコン	ワード、エクセルの基本操作から、実際の仕事に役立つ応用まで、段階的に学習する。	2 通年	30		△		○
	○	ヘアカラー	ヘアカラーの基本作業を中心に、今現在のカラー事情に則したカラーテクニックおよびカラーデザインを習得させる。	1・2 通年	90		○		△
	○	カラーコーディネート	色彩に関する基本的な理論や体系的な知識を身に付け、カラーカード・絵具を使用し色彩の基本的な事柄を習得する。	1 通年	90		○		△
	○	メイクアップ	基礎的化粧品の知識からテクニックまで実技と講義で理論的に学ぶ科目である。	1・2 通年	120		△		○
	○	一般教養	一般社会に関わる社会人として必要な一般常識や知識を、幅広い視点から学習する。また、社会情勢や時事ニュース等、リアルタイムな内容も合わせて学習する。	1・2 通年	60		○		
	○	接客	言葉遣いや適切な対応の仕方や接客・サービスに必要な専門知識やコミュニケーション能力を身に付け営業職などサービススタッフ以外の職種でも役に立つ知識と技術を習得する。	1 通年	60		△		○
	○	美容総合技術	必修科目において習得した基本的技術を基に、さらに発展させた高度な技術を身に付けさせるとともに、美容デザインの最新の国際的動向について学ばせること。 常に新しい技術の吸収を怠らず、また、自らも新しい技術の開発に努める姿勢を	1・2 通年	150		△		○

				習慣付けさせ、専門技術者としての心構えを身に付けさせること。							
合計				16 科目	2040 単位時間 (単位)						